

社会の“ふつう”を問い直し、課題を解決する力の育成をめざして
～大阪が大切にしてきた人権教育の継承と発展～

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会

第2号

2025年7月8日発行

地域別人権教育担当者交流会のご報告

こんにちは、府立人研事務局です。府立人研通信第2号では、5月23日(金)に行われた「地域別人権教育担当者交流会」のご報告をさせていただきます。



北会場

会場：府立東淀川高等学校

人権教育担当者として経験年数が様々なメンバーが集まり、それぞれ自己紹介した後、「今、困っていること」「これから取り組もうと思っていること」「こんな教材作ってみました!」「情報ください!ヘルプ!」「気になる生徒…どうしていこう?」「地域の人達とこんなことやってます!」の6つのお題でこの交流会で話したいことを紙に書いて出し合い、交流を行いました。

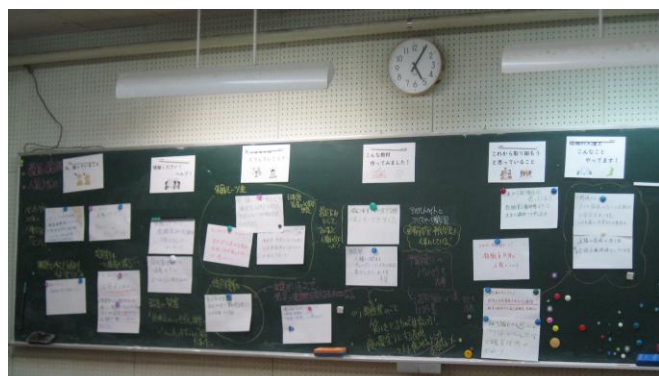
今年度から初めて人権教育担当になり、人権学習や教職員研修をどうしていくといいか悩んでいるといった声や教職員研修を受けるときの教職員の意識を高めていくことが難しいといった声、人権教育担当に毎年新しい教員になるケースが継続し、取り組みがしづらいついた声などの困りごとが出されました。他にも、日本語指導の必要な外国にルーツのある生徒や、性別違和のある生徒など、個別のニーズのある生徒への支援体制についてどうしていけばいいか悩んでいるという声もあがりました。大阪府教育センターが発行している令和6年度版の人権学習のための資料集の人権COMPASSの中にある「帰国・渡日生徒少数在籍校の教職員向け支援マニュアル」が参考になるという情報が共有されました。

人権教育担当の経験が長い先生方からは、自校で実際に取り組んだ人権学習の教材を参加者に共有していただきました。3年間を通した部落問題学習の人権学習教材、貧困問題をテーマにした講演とその事前学習の教材、アパルトヘイトについての学習教材などがあり、それぞれの学校の生徒の実態に応じ

て工夫が凝らされた内容でした。また、地域と人権学習で講師を呼ぶ場合の講師謝金の予算をどうやって工面したのかなどのお話も聞くことができ、これから人権学習を実践していくための参考になる内容が盛り沢山でした。

他にも、文化祭の企画内容に対しての人権に関するチェックシートを作り、クラスにおろしているという話や、近隣の高校と一緒に合同の教職員向けの人権研修を行っているという話など、話題は多岐に渡りました。

「学校ではなかなか共有できない悩みに関して他校の先生からアドバイスがもらえてよかった」、「困りごとの共有ができて良かった」、「他の学校でどんな人権学習や職員研修を行っているのかが聞けて参考になった」という参加者の声が寄せられるなど、とても有意義な2時間となりました。



南会場

会 場：府立今宮高等学校

人権教育を初めて担当する先生や長年人権教育に携わっている先生が集まりました。まずは、「自校の人権HRの取り組み状況」、「自校の教職員人権研修の取り組み状況」を共有しました。人権HRの取り組み内容については、「違反質問と統一応募用紙」や「性的マイノリティ」、「境界線のワーク」などが挙げられました。実施内容もクラスでプリント教材を使いながらのHRや学校全体で取り組んだ「アパルトヘイト」の講演についても共有されました。生徒向けの講演では授業時数の兼ね合いでなかなか時間が確保されないという悩みがあり、それでも「当事者との出会い」を大切にしたいという思いから、1時間の講演で本当に当事者の思いや課題が伝わるのかという話し合いが行われました。話し合いの結果、大切なことは講演してくださる当事者の思いであり、どうしても短い時間で実施する場合にはきちんと講師と話し合い、事前事後学習でしっかり学校がフォローすることが必要であることが全体で共有されました。

教職員人権研修についても内容はさまざまで、希死念慮に関することをテーマに取り組んだり、学校の実態に合わせたSSWの活用について行なったりした学校がありました。担当する先生方は、自校の生徒のために教職員人権研修の内容は何かよいかを悩まながら、講師がなかなか見つからないといった現状にも苦慮されていることを話されました。人権教育に取り組む姿勢に教職員間で差があることから、どうすればより多くの先生方が教職員研修に懸命に取り組んでもらえるか相談することができました。

最後は教職員集団のあり方についても話し合いました。生徒たちだけでなく教職員にとっても安全で安心な学校にするためには何が必要かという話題にもなり、教職員の集団づくりの大切さも共有することができました。



他校の情報や取り組みを知ることができ、それぞれの先生の思いを共有できたことから、充実した交流会となりました。



社会の“ふつう”を問い直し、課題を解決する力の育成をめざして
～大阪が大切にしてきた人権教育の継承と発展～

府立人研

夏季セミナー

1. 日時 2025年7月30日(水) 10時～17時
31日(木) 10時～17時

2. 場所 府立今宮高等学校

JR環状線・南海電鉄「新今宮」駅 北西へ約300m

大阪メトロ「大国町」駅 南へ約300m

学校への入口は西側にある正門となります。

※会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

3. 申込方法 Google フォームより申込をお願いします。

<https://forms.gle/XR7zpbQbTkR7G966>

※府立学校の方は、管理職または校内担当者に参加する旨を必ずお伝えください。



4. 資料代 2,000円(当日会場で申し受けます。)

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106

府立柴島高等学校内

(通送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通)
(お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-Mail furitsujinken@nifty.com
(お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。)

U R L <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>



← 府立人研 HP も
チェックしてくださいね

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。